

<p>名 称</p>	<p>伊勢崎市立境采女小学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>3 2 1 人 (令和 5 年 5 月 1 日 現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部役員 6名 ・顧問 1名 ・会計監査 2名 ・地区委員会 (8地区) <p>2 運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、拡大委員会、本部役員会、運営委員会 ・地域行事への協力
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 P T A 組織及び活動内容の見直し</p> <p>保護者へのアンケート結果を踏まえて、以下の図に示すとおり、P T A 組織の大幅な見直しを行った。</p> <p><令和4年度以前></p> <div data-bbox="480 875 1417 1346"> <p>PTA組織と活動内容</p> <p>※地区委員が兼任</p> <p>◇委員会の業務内容◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育的行事への協力 ・お遊びオリンピック等の計画・実施 ・自転車安全教室に協力・安全マップ作成 ・小中合同あいさつ運動への参加 ・特別支援学級行事の援助 ・児童の健康推進のための活動 ・親子講習会(手づくり教室等)実施 ・広報紙の作成、発行 ・学年の活動を補助 </div> <p><令和5年度以降></p> <div data-bbox="480 1402 1417 2063"> <p>PTA組織と活動内容</p> <p>※地区委員の「委員数の削減」と「仕事内容の精選」</p> <p>①令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会を廃止。 ・地区委員としての仕事は暫定的に5・6年の委員のみ。 6年:地区委員長 5年:地区副委員長(推薦委員を兼任) ・PTA会費の集金は学校が代行する すでに集金を済ませた区はそのまま学校の会計へ納入 ・旗振り当番表の作成 ・本部役員の推薦(地区副委員長) ・地区内での連絡・調整 「子ども安全協力の家」利用調査は学校が代行する <p>②令和6年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区からの委員数を6名 → 2名に削減 ・地区の実態を考慮し、地区委員になる保護者の学年を外すことで、複数年続けて委員になる負担をなくす <p>変更</p> <p>ボランティアの募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育的行事への協力 → マラソン大会走路員への協力 ・安全マップ作成 → 書面で全家庭に協力 ・特別支援学級行事の援助 → 合同遠足はひまわり児童の保護者に募集 ・広報紙の作成、発行 → 学校通信、学年・学級通信に代える ・卒業生保護者代表の謝辞 → 6年保護者に募集し、出ない場合はなし。 <p>□これまで委員会で担ってきた活動</p> <p>内容を精選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育的行事への協力 ・お遊びオリンピック等の計画・実施 ・自転車安全教室に協力・安全マップ作成 ・小中合同あいさつ運動への参加 ・特別支援学級行事の援助 ・児童の健康推進のための活動 ・親子講習会(手づくり教室等)実施 ・広報紙の作成、発行 ・学年の活動を補助 </div>

＜P T A組織及び活動内容の見直しによる成果＞

- ・学校やP T A、地域の行事等を年間で見直し、必要な会議に精選したことで、保護者、教職員双方の負担の軽減につながった。
- ・P T A活動をボランティア募集制度に変更したことにより、活動の規模も縮小されて、真に必要な活動内容に精選することができた。P T A活動に対するハードルも下がり、気軽に協力できる体制ができつつある。併せて、P T A年会費も半減することができ、保護者の負担を減らすことができた。
- ・地域による役員選出の際の不公平感が解消できた。
- ・学校運営協議会においてP T A活動について、取り上げることで、地域の理解もいただきながら進めることができた。

2 ボランティアによる主な取組

(1) 登下校時の交通安全

日々の登校時における保護者やボランティアによる旗振り活動や、地域諸団体の方々による見守り活動をとおして、児童の安全確保と健全育成に貢献していただいている。



保護者による旗振り



交通安全教室

(2) 体育的行事への協力

令和4年度以前の運動会やマラソン大会などの体育的行事では、P T A本部役員や体育委員会の皆様に運営の協力を依頼していたが、今年度より、これまで地区委員が分担して所属していた専門委員会を廃止したことに伴い、全保護者にボランティアを募り、行事の運営への協力を依頼した。運動会では片付け作業を行っていただき、マラソン大会では一般道路での誘導にご協力いただいた。これまでは一部の保護者のみで行っていただいていたことを、広く全保護者に広げたことで、協力する保護者の皆様の意識の高まりも感じられた。



運動会



マラソン大会

名 称	伊勢崎市立南小学校 P T A
会 員 数	2 2 6 人（令和 5 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	<p>1 組織</p> <p>○本部役員 13名 会長1名、副会長4名、書記3名、会計3名、顧問2名</p> <p>○会計監査2名</p> <p>○常置委員会 学年委員6名 地区委員8名 広報委員6名</p> <p>2 運営</p> <p>(1) 本部役員会 年10回実施</p> <p>(2) 拡大運営委員会 年4回実施</p> <p>(3) 総会 年1回実施</p> <p>拡大運営委員会は、同日、本部役員会の後に実施。</p>
主 な 活 動	<p>【実情に応じた P T A の組織及び運営の工夫】</p> <p>1 組織及び P T A 活動の見直し</p> <p>児童数の減少に伴い、P T A 会員数が減少し、今後、地区委員を全地区から選出することが困難となることが想定される。そこで、地区委員の担ってきた安全面での業務を精選し継承できるように、令和6年度は「地区委員」を「安全委員」という名称に変更し、各学年から1名選出していくことを今年度の本部役員会より提案し、P T A 会員から承認を得た。</p> <p>また、同様に P T A 会員数の減少から朝の旗振りが頻繁にまわってくる地区が出てきたことから児童の朝の通学状況を調査し、朝の旗振り箇所を見直した。全保護者へのアンケートを実施し、要望をとりまとめ、拡大運営委員会、総会で承認を得て、旗振り箇所を5カ所から2カ所へ絞りこんだ。このことにより保護者の旗振り当番が毎月1～2回から2ヶ月に1回程度になり、大幅に保護者の負担が軽減された。</p> <p>【学校運営協議会、公民館等と連携した地域学校協働活動】</p> <p>1 朝行事における読み聞かせ活動</p> <p>保護者ボランティアが朝行事の時間に読み聞かせを実施しているが、今年度はボランティアを増やそうと、校区の公民館だよりで地域の方に読み聞かせボランティアを呼びかけたところ、新たに4名の方の協力を得ることができた。そこで、地域の方が読み聞かせを行うに当たっての講習会を公民館で長年朗読の指導をされている方を講師に迎え、2回実施した。この講習会に保護者の読み聞かせボランティアも参加し、本校の読み聞かせに関わる方々の技能向上を図るとともに、保護者と地域の読み聞かせボランティアの交流の場にもなった。</p>



読み聞かせ講習会

2 公民館主催の行事への参加

学校運営協議会にPTA会長とPTA顧問が委員として会議に参加し、公民館を核とした学校と地域の連携・協働に関わる活動等について協議をしている。この会議で協議されたことを反映する事業を学校が具体的に公民館に依頼し、公民館主催の夏休み子ども向け講座の一つとして「こども書道教室」「南地区ふるさと学習まちあるき講座」が企画され、開講された。これらの講座では、地域住民、高校生等が講師となって児童の指導にあたった。

また、6年生児童による「南小マーチングバンド」の地域行事での演奏に関わる協力が、学年委員会の事業になっている。児童が学校から地域へ出て行く活動に、PTAが関わっている事業で、今年度は公民館主催のレクリエーション大会のオープニングで演奏を披露した。



マーチングバンドの演奏

【委員会によるPTA活動】

1 学年委員会によるPTA環境美化活動と給食試食会

学年委員会がPTA環境美化活動を年に2～3回、休日の朝に計画し実施している。多くの保護者と児童が参加し、校内の除草、校庭整備、卒業式に飾る花の植栽等を行っている。学年委員が受付やお茶の準備等を行うなど、PTA主体の活動となっている。





花壇への苗の移植

また、学年委員会が実施してきた1年生の保護者を対象にした「給食試食会」が、コロナ禍で3年間中断していたが、保護者の要望が多いことから、今年度はこれまで参加できなかった4年生までの保護者を対象に2日間に渡って実施した。給食の試食のほか、栄養教諭による食の指導や給食がどのように作られているのかなど、家庭での食育と給食の理解を深める機会となった。

2 PTA主体の安全指導に関わる取組

地区委員は「子ども安全協力の家」の利用状況調査を行い、その結果をもとに学校の安全集会で「子ども安全協力の家」の説明や利用確認を行っている。また、毎年実施している1・4年生の交通安全教室では、学年委員会を中心に保護者ボランティアを募り、多くの保護者の参加のもと、安全指導の充実を図っている。

3学期には、保護者による通学路の危険箇所調査を実施し、危険と思われる箇所を調査用紙に記入し提出をしてもらっている。学校は提出された箇所を集約し、新年度、カーブミラーの設置や路面標示等の改善要望を市へあげている。また、危険箇所を学校通信の特集号として取り上げ、危険箇所の周知を図っている。

<p>名 称</p>	<p>富岡市立小野小学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>1 1 4 人 (令和5年5月1日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織 (1) 本部役員：7名 (会長：1名 副会長：2名 書記：2名 会計：2名) (2) 顧問：2名 (3) 会計監査：2名 (4) 専門委員：9名 (9地区各1名の地区委員)</p> <p>2 運営 (1) 定期総会 (年1回) (2) 実行委員会 (年4回) (3) 専門委員会 (随時)</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 地域との連携</p> <p>本校 P T A は、小野地区地域づくり協議会と多方面で連携し、地域における児童の豊かな体験をかなえるため、地域の行事（納涼祭・文化祭）に参加、協力をし、学校・地域の枠を越えて児童の育成を共に行っている。</p> <p>地域づくり協議会が主催する納涼祭は、毎年8月に実施され、多くの地域住民が参加するお祭りである。様々な地域団体が運営に参加・協力しているが、本校 P T A は、富岡市立北中学校 P T A と合同で焼きそばの調理・販売を担当するとともに、お祭りの司会進行も担当し、児童をはじめ地域住民がそろって楽しむ機会を創出している。</p> <p>同じく地域づくり協議会が主催する文化祭は、公民館を会場に開催され、児童、生徒、園児および地域住民の文化サークル等が参加するものである。例年、本校1年生児童が作品展示で参加している。本校 P T A 本部役員は、運営委員として準備から片付けまで行い、地域住民と児童の文化的な交流の場を作ることにも協力している。また、ポップコーンの調理・販売を担当し、文化祭に来場した子どもたちを楽しませている。</p>  

また、協議会以外の地域住民とも様々な場面で連携している。特に、本校のシンボルであるとちの木については、地域住民とPTA本部役員が協力して、5月に消毒作業を行い、樹齢100年を越える大木を共に守っている。



2 幼小中PTAの連携

富岡市では、将来の少子化を念頭に置いた「富岡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画」が策定され、計画に則った協議が進んでいる。小野地区では、これまで北中学校を会場に2回、小野小学校を会場に1回、教育委員会担当部署から説明会が開催された。

さらに、具体的な説明を聞き、保護者としての不安や疑問を解消するために、本校PTA本部役員が主導し、校区内の北中学校PTAと認定こども園おのすみれ保護者会で連携して、幼小中PTA合同の学校再編説明会を共催した。本校PTAは、二校一園の保護者にGoogle Formを利用して研修会参加希望のアンケート



をとったり事前質問を募ったりして事前準備を進めた。当日は、富岡市教育委員会担当に出席していただき、学校再編計画の説明をしていただいた。保護者からは、不安解消のための質疑や統合に向けたプロセスの確認など、活発に意見が出された。

幼小中PTA合同説明会のあとは、区長会と民生児童委員協議会に対して説明会の概要報告を行った。民児協に対しては概要をまとめた資料を提供し、区長会に対しては、小中PTA会長が説明会開催の意図や話し合われた内容などを直接説明した。

この合同説明会を、小中PTAが主体的に企画、運営を行い、こども園保護者にも呼びかけることで、学校再編が将来にわたる地域全体の課題であり、地域としてどうすべきかを考える必要があることを再確認する機会となった。また、幼小中PTAの連携を深めることにつながり、地域の子どもたちの育成について、同じビジョンで取り組むきっかけとなった。

3 地域住民と協働して行う諸活動

社会教育委員の協力を得ながら「放課後ふれあい教室」や「土曜ふれあい教室」を実施している。「茶道教室」や「生け花教室」、「たこ作り」、「読み聞かせ」など充実した活動を行っている。また、「どんどん焼き」など地域の行事に参加する児童が多く、地域の教育力を活用した児童の健全育成を推進している。

〈茶道教室〉



〈生け花教室〉



4 親子行事等の企画、会員相互の学びに関する諸活動

親子のふれあいを深められるよう「親子行事」を学年委員長と担任で考え、各学年の発達段階に応じた取組を実施している。また、文化生活委員による「料理講習会」を実施している。この講習会には、栄養士も加わり、冷蔵庫にある残り物でつくるレシピ集など、保護者にとっても生活と深く結びついた取組となっている。他にも、保護者や職員を対象とした「心肺蘇生法」を実施し、子どもの命を守るための対応や対策についてしっかりと情報共有をしている。

〈親子行事〉





〈心肺蘇生法〉



5 その他の活動

「学校だより」を毎月発行し、会員へ配付するとともに、校区内区長に回覧し、子どもたちや、保護者、学校の様子を地域住民に広報し、地域全体で子どもたちを育てる機運の醸成を図っている。また、文化生活委員を中心に年3回広報「西部小PTAだより」を発行している。保護者、学校職員、児童（卒業生を中心）の寄稿を掲載し、配布している。

<p>名 称</p>	<p>館林市立第七小学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>75人 (令和5年5月1日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部役員 8名 (会長1名 副会長3名 書記2名 会計2名) ・会計監査 3名 ・専門委員会 11名 ・学年委員会 12名 (各クラス正副2名) ・支部 8名 (4地区正副2名) <p>2 運営</p> <p>(1) PTA 総会 (年1回 紙面開催)</p> <p>(2) PTA 本部運営委員会 (年3回)</p> <p>(3) 総務委員会 (年2回)</p> <p>(4) 学校行事・学年行事・地域行事への協力</p> <p>PTA 総会の紙面開催 (コロナ対応が発端) を行ってきた。本年度から決議も WEB で行い、負担軽減を図っている。</p> <p>会員数が減少している。組織の構成人数を縮小したり、統廃合したりし、少人数でも現状の学校支援が持続できるように計画的に見直しを行っている。</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 効率のよい運営に向けた取組</p> <p>PTA 会員数の減少により、前年度踏襲の形態では会員一人一人の負担が大きいため、事業内容や組織編成の改善を行った。</p> <p>(1) PTA 総会紙面開催及び WEB 決議</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="491 1272 820 1599">  <p>PTA 総会資料(紙面開催)</p> </div> <div data-bbox="833 1272 1114 1599">  <p>WEB 決議</p> </div> </div> <p>紙面を PDF にし、学校メールシステムで全会員へ配信した。印刷、帳合、配付が全て解消され負担軽減になった。また、決議も Google アンケートフォームで行った。会場設営や委任状等の掌握もなくスムーズに行え、負担軽減になった。</p> <p>(2) 組織の統廃合と構成人数の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門部 <ul style="list-style-type: none"> R5 は4部あった専門部を1部に統廃合し、事業内容も「読み聞かせ」と「持久走大会協力」のみとした。 R6 は「読み聞かせ」を学年部やボランティアに、「持久走大会協力」を地域学校協働組織 (本部は公民館) に委託し、組織として廃止とする。 ・支部 <ul style="list-style-type: none"> 地域ごとに4支部あり、本部役員等の選出を行ったり、支部ご

との行事を行ったりした。本部役員の選出はR6より3学期の学年懇談会で選出することになった。R5は市P連役員3名を選出した。

・本部

R6より副会長、書記、会計を1名ずつ減らし、会計監査を3名から1名にする。書記、会計、副会長の各1名、は3学期の学年懇談会にて選出する。

(3) 学校行事及び地域交流事業への参加

PTAが参加、支援する行事を教育課程と関連深いものに厳選して必要最小限の人数で実施している。



2年生サツマイモ植え

生活科の一環として2年生では公民館の地域交流事業であるサツマイモ栽培に参加している。PTA本部役員が近所の畑までの交通指導を行ったり、児童の支援を行ったりして授業の充実を図っている。



5年生田植え

総合的な時間の一環として5年生では公民館の地域交流事業である稲作に参加している。この日は雨で寒かったが、こまめに声をかけたり、顔色を見たりし、健康観察に心がけた。体調のすぐれない児童はいなかった。



読み聞かせ

専門部員とボランティアでローテーションを組み、全学年で月1回の割合で実施している。児童はとても楽しみにしており、読み聞かせが終わった後も感想や自分の考えをお互いに語り合っている。本校の課題でもある聞く力の育成に貢献している。



地域運動会協賛

本校の運動会は地域と合同の運動会である。ここ4年間ばかりはコロナの影響で合同ではできなかった。今年度は地域、学校、保護者が意見を出し合い、児童が主役になる充実した運動会を運営することができた。



持久走大会

本年度の持久走大会はコースを見直し、少人数でも走路指導ができるように変更した。交通指導員にも依頼し、多くの人に見守られながら、安心して走ることのできる環境で持てる力を発揮していた。